PRESS RELEASE

2026 年 11 月 20 日
株式会社新日本科学
https://snbl.com
（証券コード:2395　東証プライム）

新日本科学、CDP2026「気候変動」と「水セキュリティ」の２分野で「B スコア」を獲得

株式会社新日本科学（本社：鹿児島県鹿児島市、代表取締役社長：平間英之）は、国際的な環境情報開示システムを運営する非営利団体 CDP の 2026 年評価において、「気候変動」と「水セキュリティ」の２分野で、昨年に引き続き「B」評価を獲得しました。

CDP は、企業などに環境に関する質問書を送り、その回答に基づき、企業が環境課題をどのように認識し、管理・対応しているかを評価しています。今回獲得した「B」は、「A」から「D−」までの８段階のうち、上から３番目の評価です。自社の環境リスクや影響を把握し、具体的な対応に取り組んでいることを示す「マネジメントレベル」に位置づけられます。

当社は、欧州のお客様を中心に、CDP 質問書への回答を通じた環境情報の開示を求められています。こうした要請に応え、当社では継続的に情報を開示しており、今回の評価結果は気候変動への対応や水資源の管理に関する当社の取組みについて、お客様に理解を深めていただく一助となるものと考えています。

近年、大雨に伴う水害などの自然災害が激甚化するなか、当社は、気候変動への対応を重要な経営課題の一つと位置づけています。温室効果ガス排出量の削減に取り組むとともに、各拠点の水リスクを把握し、気候変動が事業に及ぼす影響に備えてまいります。

当社は「環境、生命、人材を大切にする会社であり続ける」と掲げた理念、「わたしも幸せ、あなたも幸せ、みんな幸せ」というスローガンのもと、サステナビリティの推進を通じて、経済的利益と社会的利益を一体として創出し、持続的な成長を目指してまいります。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】
(株)新日本科学 IR広報統括部
TEL: 03－5565－6216
E-mail: ir@snbl.com